



世界にはばたくパナマっ子



Vol.9 2014/7/11 パナマ日本人学校 高嶋幸太(中札内中在籍)

□■「世界ー！」にこだわる■□

「何でもやります！がんばります！」文科省での最終面接の際に出た言葉です。

さて、パナマ日本人学校に勤務し1年3ヶ月が過ぎました。改めて、「何でもやります！がんばります！」の言葉の重さと責任を感じております。

「中2の社会なんて教えられない…。」「小5から中2までの体育なんてムリ…。」「技術に小学高学年の社会も…。」思わず口に出してしまいそうになりました。



1対1の中1国語



3対1の中2英語

2年目となり、教務主任・研究主任・中学部主任を任せ、いかに効率よく仕事を進め、週27時間の教材研究の時間に充てるかというのが、私の課題となりました。午後5時までには分掌業務を終え、その後は教材研究…。そんな日々が続いております。本校に赴任し、理科と音楽以外は、すべて指導していることとなります。

この1年3ヶ月の間に、数多くの指導書に目を通しました。その中で気がついたことがあります。それは、指導書を参考にしつつ、「世界ー！」にこだわらなければならないということです。

「1人しかいないクラスでいかに教えるか？」「学力差のある3人学級にどう指導するか？」毎晩教材研究が耐えません。教材を作成しているとワクワクしてきます。子どもの顔が浮かんできます。子どもの挑戦したいという表情を見た時、思わずガッツポーズをとりたくなります。

今年の私のテーマは「世界ー！」にこだわることです。清掃活動世界ー！汗・涙・感動、世界ー！どんなことから逃げない心世界ー！…。

大きな目標を達成するために、日々の小さな目標を大切にしながら、今日も子どもたちの目の輝きを楽しみに教材研究を続けております。



年2回のお母さん給食カツカレー



パナマのお祭り



日本まで12000km(メキシコ)